

嘆きのテレーズ (1952)

THERESE RAQUIN

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 フランス
色彩 B&W
時間 107分
初公開日 1954/04/20
公開情報 新外映

【解説】

ゾラの『テレーズ・ラカン』を現代に焼き直したC・スパークの脚本を、M・カルネが映画化。病弱な夫をよそに逞しい運転手と恋に落ち、夫の殺害を企てる女の冷酷さをシニョレが完璧に演じた。ヴァローネの愛人も適役。完全犯罪にするため仕掛けたトリックが、自分で自分の首を絞める結果となる。このラスト近くのサスペンスの、淡々とした畳みかけは迫力満点。フランス映画のエスプリ……という所か。

【クレジット】

| | | |
|----|---|---|
| 監督 | マルセル・カルネ | Marcel Carne |
| 原作 | エミール・ゾラ | Emile Zola |
| 脚本 | マルセル・カルネ シャルル・スパーク | Marcel Carne Charles Spaak |
| 撮影 | ロジェ・ユベール | Roger Hubert |
| 音楽 | モーリス・ティリエ | Maurice Thiriet |
| 出演 | シモーヌ・シニョレ ラフ・ヴァローネ ローラン・ルザッフル ジャック・デュビー シルヴィー | Simone Signoret Raf Vallone Roland Lesaffre Jacques Duby Sylvie |